

銀

Aブロック 全作品と講評



www.columnland.net/

にて作者さん&読者さんの声実況中

永遠に

しろがね

銀の

指輪を渡す

その日から

誓いと共に

あなたの傍へ

でじあな！

世の中はデジタルに向かって進んで行ってるけどさ、アナログの魅力もあながち捨てたもんじゃないと思うんだよね。実は最近、周りからしてみたら家にクモが出たくらい些細なことなんだけど、僕にとっては台所に黒いアイツが出たくらい実にショックなことが起きたんだよ。全く冗談じゃないくらい参ったもんさ。

コニカミノルタから販売されている CENTURIA っていうシリーズのフィルムがるんだけど、実はこれの生産が先日終了しちゃったんだ。なんていっても他の追隨を許さない低コストなフィルムが好きだったんだけど・・・全くツイてないとはこのことだよ。全国からマクドがなくなってモスに変わっちゃうくらいツイてないよ。これにも、物価高騰や銀塩カメラを使う人の減少が原因じゃないか、と思ってるわけさ。うん。デジカメの利便性は言わずもがなだからさておき、銀塩の魅力っていうのはシャッターを押す1/100秒とか1/1000秒の瞬間に込められていると言っても過言じゃないと思うね。ほんとの話。一眼レフに限っていえば、シリンドラーを手動で回して被写体にピントを合わせ、シャッタースピードと採光の具合を考え、脇を締めてからゆっくりと呼吸を止めて・・・

カシャ！

って具合さ。撮り直しはきかないし、撮った写真はすぐ見れないんだけどさ、シャッターを押す瞬間の勇気と一瞬にかける集中力はスポーツのそれと大差がないんじゃないかとさえ思うよ。いや本当の話。サッカーでボールを蹴るとき、野球でバットを振るとき、バスケットでボールから手を離すとき、これらとシャッターを押すときの呼吸を止める一瞬になんの差もないんだよね。だからそういった意味では、チャンネルを変えるように簡単にシャッターを切れるデジカメしか使わない人たちにもこのスポーツの良さを熱さを分かってもらいたいわけさ。そこで、コストパフォーマンスのいい CENTURIA を紹介したいんだけど・・・先述のありさまって訳さ。全く困っちゃうだろ？フィルムが高くて一層銀塩離れが進んじやったらそれこそデフレスパイラルって訳だよ。ほんとゲロ吐いちゃうくらいショックだったね。つまりは、デジタルの流れに逆らおうって言うてるんじゃないんだよ。アナログの気持ちを忘れずに持っておきたいな、と僕は思うし、これからもそうしていきたいんだ。いやほんとの話。

輝き

折り紙で作った銀メダル
本物の銀だと思っていた
そんなあどけない幼少時
今までの僕の人生の中で
最も心と顔が輝いていた
だけど、今の僕にとって
それは、ゴミでしかない

ああ、今の僕のくすんだ心も

丹念に磨いてみると

本物の銀のように

昔のような輝きを

取り戻せるのだろうか

銀猫、そう呼ばれる者達が当たり前にいたのはもう何年も前のこと。長年続いた俺たちとの戦いの末、猫達の大部分が死に、捕えられ、残りの者達は種の保存の観点から厳しい監視のもと生活している。そして種族の精神的柱だった若き長も捕えられた一人である。

「初めまして、銀猫の長。名前は？」

我が国にある奇妙な習慣。次期国王が成人するときに一人死刑囚を殺すというもの。次の国王は俺で、俺に殺されるために今日まで生かされたのが銀猫の長。彼女は一月後に殺される運命だ。

「名乗る程の名前は持ち合わせてない。」

なのに目の前にいる少女は俺を恐れる様子もないし、死への恐怖がないように見える。

理由を問うてもただ微笑むばかり。のびきった銀の髪が日に透ける様が憎らしかった。

*

少女はまるでいつも通と言わんばかりに日々を送っている。あまりにも動じない。なんでそんなにも『自分』を頑に持ち続けるのか。

銀猫の生き残りの話をしたら少しだけ表情が揺れた。今だ、と思い前と同じ問いをしたらこう言われた。

「ただ私は『私』として、銀猫の長として死んでゆきたいだけ。」

あれから彼女を見ているとوراやましくてしようがなくなる。何者にも媚びずに生きるのが銀猫の性なのだと見せつけられるようで。

*

今日で人生が終わるというのに彼女は変わらぬ様子で過ごしていた。

「心残りとか、ないのか？」

訪ねてみたがいつかのように微笑むだけ。「心残

りどころか感謝でいっぱいよ。」と。

*

風呂に入り、振り返り血を流す。なにかに誘われるようにして彼女の使っていた部屋に入ると、窓際に二つに折られた一枚の紙があった。

*

突然のことで驚くでしょうね。だけどこれだけは伝えたかったです。

ありがとう、私を最後に哀れな囚人としてはなく、銀猫の長としていさせてくれて。

どんなに懂れても他の生き方はできない私達に、唯一残された誇り高く生きる道は、きっと自分に与えられた運命をまっすぐに受け入れることでしょう。

だからどうかあなたも自分を受け入れてあげてほしい。あなたの繊細さや周りを見てしまうところを、どうか弱さと言わないでほしい。

それは周りを伺っているのではなく、誰かの気持ちに添えるということだから。

*

最後の一文を読んでこぼれたのは笑み。俺がみつともない、とか格好悪い、と思っていて、それでもどうにも変えられなかった俺たちの――黒犬の性を、彼女は見ていてくれたのか。

彼女達のように美しくは生きられないかもしれない。だけど、俺はきつと自分を誇るだろう。

猫になりたかった犬の話

あなたは自分の見た目を裏で暗躍した自分たちの種族になぞらえて嫌っていましたね。だけれど、銀色に輝き続けるということは、真つ暗闇の優しさに浸っている時にしか安らげないということ。私達は相容れない種族でした。それでも私は、あなたの二つの優しさに確かに救われたのです。

とある休日の出来事

めずらしく朝早く起きた。

すがすがしい天気だった。

何もすることがなかった。

とまあえず外に出た。

外にはだれもいなかった。

とまあえず公園に行ってみた。

やっと人をみつけた。

振り向いた。

全身が銀色だった。

見なかったことにしよう。

簡単おもしろ科学実験

◇ 用意するもの

新聞紙一枚・銀紙(アルミ箔)二枚・9V電池一個・9V電池用ソケット一個・ゴム手袋一組

◇ 作り方

まず、30 cm × 30 cm 程度のアルミ箔を二枚準備し、その間に、ひと回り大きく切った新聞紙をはさみます。次に、9V電池をソケットにさし込み、ゴム手袋をはめた後、上下二枚のアルミ箔に接続します。このとき上下のアルミ箔が、ピタッと吸い付けばOK。導線をアルミ箔から外して完成です。

◇ 実験

そのまま放置して誰かが触るのを待つだけです。その人が触った時にどうなるかをしっかりと観察しましょう。

◇ 注意事項

誰かが触るまで絶対に自分で触ってはいけません。理由が分からない人は、インターネットで「コンデンサーの原理」と調べてみると良いでしょう。また、この実験はすべて自己責任で行ってください。そして、これらの実験は科学の楽しさを学ぶためのものであり、決してクラスの嫌いな人の机の上に置くためのものではありませんので十分に注意してください。

京都再訪 金閣・銀閣

京都北山にある鹿苑寺・金閣。修学旅行で訪れたことのある人も多いだろう。

私もその一人だが、今になって改めて金閣を眺めてみると、どこか違和感を抱くことがある。

あの金色に光り輝く姿は、日本人の美意識に本当に共鳴するのか？自然と調和し、自然と共に年を重ね、やがては朽ち果ててゆくものこそ、古くからの日本人にとっての美ではないのか？

そこで心に浮かぶのが、慈照寺・銀閣の存在である。

銀閣には、まさに「わび」と「さび」の精神が表れている。造営から500年以上も経った今も、周囲の庭園と一体となり、静かに時を歩み続けている。

金閣が目指した永遠の美と、銀閣が目指した自然との一体感。

金閣の存在があつてこそ、銀閣がより一層引き立てられる。銀閣の存在があつてこそ、

金閣の視覚的で永久的な美しさが受け入れられるのではないか。

金閣の美は、銀閣によって完成されたのだと言える。

室町幕府の絶頂にあり、栄華を極めた足利義満と、幕府が衰退してゆく中で、憂き目を見た足利義政。栄枯盛衰のこの世の無常に思いを馳せつつ、今一度足を運んでみてはいかがだろうか。

銀世界

標高3400メートル。舗装されていない荒れた道を車に乗って走り続ける。辺りには植物がほとんど見られない。そんなにもここは厳しい環境なのだ。

しばらく走り続けると、地平線の方が白くなってきた。その白はだんだんと車を囲んでいく。そしてついには、障害物何一つ無い銀世界が目の前に広がった。

私はおもむろに車から降りた。寒くない。そして真っ白な地面は固い。そう、この銀世界は雪によるものではない。塩だ。地平線の向こうまで、塩の大地が広がっているのだ。

標高が高いのは海中が隆起してできた土地だからである。そこに残された海水が、この銀世界を創り出した。そして植物が生えていなかったのは、土地が塩化しているからだ。寒すぎるからではない。

雪ではなくて、塩の銀世界もいかがだろうか。ここはボリビア中央西部、ウユニ塩原。

幸

あ
し
わ
せ

純白の 衣装と

銀色の 指輪に

大きな 期待と

小さな 不安。

新しい 世界へ

新しい 自分へ

大切な 一歩を

二人で 歩む。

『精霊の涙』

深い山の中 そこにひっそりと存在している小さな泉がある。
もう今ではほとんど見に来る者もないが、地元住民の間では精霊が住んでいるという神話も伝えられている。

あるところに、病弱の妻と暮らす貧乏な木こりがいた。木こりは手製の斧で木を切って薪を作って売っていたが、それだけでは妻の薬には到底手が届かず、病気は長引いていた。ある日、木を切っている最中に手を滑らせて、近くの泉に斧を落としてしまった。鉄製で不格好ではあったが、毎日欠かさず手入れしていた大切な斧だったため、木こりは泉の前で呆然としていた。
そのとき、泉から不思議な光に包まれた異様な存在が姿を現す。

「私は泉の精霊です。あなたが落としたものを見つけて差し上げましょう。」

しばらくして、精霊はあらかじめ用意していた金・銀の斧を泉の底から拾ってくるが木こりは自分のものとは違うと否定した。そして最後に拾ってきた鉄製の自分の斧を返してもらう。

「あなたはとても正直者ですね。そんなあなたにはこの金・銀の斧も差し上げましょう。どうか持って行って下さい。」

「ふざけないでくれ。そんなものが何の役に立つんだ？ まず金・銀は銭とか小判とかに使われるくらいです。く形が変わりやすくて、木を切つてるとだんだんぐによぐによに曲がつて使いもんにならなくなるんだよ。じゃあ町に売りに行けばいいという話だが、俺みたいな貧乏人がそんなものを持って歩いてたら役人たちにいかげんな因縁つけられてお縄になるし、商人のもとまで行っても貧乏人腐生がとかなんとか言われて奴らに斧だけ取られて帰ることになる。町つてのはそんなところだ。俺たち貧乏人は普通に歩くことすらままならないひどい場所なんだ。とても売りになんか行けない。妻の薬を買うのも無理なんだよ。……あんたも精霊ならちよつとは考えてくれ。」

そう言うと、木こりは鉄の斧だけを持って去っていく。

「まったく、斧がびしょびしょだぜ。錆びつかなければいいけどな。今日はいつてもより念入りに手入れしないと……」

精霊はしばらく唾然とし、そして苦虫を数百匹一度に嘔み潰したような表情で静かに沈んでいく。その時、呟きともとれるくらい小さい声で 木こりの捨て台詞が精霊の耳に届いた。

「ほんとにこんなつらい世の中だよ あんたもきつと苦労していくことだろうけどな……
これからも強く生きろよ。」

精霊は 表情だけ何かを堪えるようなものに変えて そのまま静かに沈んでいった。
木こりも去り 山は静かに夜を迎えた。

泉の神話には続きがある

この泉は月明かりに照らされると水面が白銀の輝きを放つという神秘的な現象が見られるのだが、『その白銀の輝きは 精霊が人間の温かさに触れ はじめて流した涙の輝きである』
というものである

それに由来して この現象は『精霊の涙』と呼ばれているという――

耐久強度基準下回る

銀を使わない美濃囲いで棋士逮捕

先日行われた竜馬戦(読日新聞主催)の決勝、羽田善秋九段対森ノ内俊介九段との一戦で、対局中に指された美濃囲いが国の耐久強度基準を満たしていなかったとして、警視庁は羽田九段を自玉安全基本法違反容疑で逮捕した。

日本将棋連合によると、の美濃囲いには銀がなく、同連合の測定により、美濃囲いとして認められるには、耐久強度が七hA(一三三hABUヘクトエー)に達し、羽田容疑者は「攻め駒が足りなかった。調べビーユ」を超えなければならぬとしている。

美濃囲いは通常金二枚と銀一枚で玉を守る囲いであるが、羽田容疑者は2年前に

も国の許可を得ずに振り飛車を打ったとして振り飛車基準法違反で逮捕されており、警視庁では余罪がないかどうか追求している。因みに、この対局では「銀無し棒銀」戦術を擁した森ノ内九段に対し、羽田容疑者が八九手で勝利した。

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
A01	永遠に	3 pt	8 位	1 sp
		なだらかに降りてゆくレイアウトが、あたかもゆっくりと気持ちが寄り添ってゆくようで、フレーズの整いともども、しっとり浸れました。 銀セッションスタートにふさわしい、荘厳な表紙です。 特別賞：A g 酸化賞（銀が錆びる発想はなかったんですか？ →離婚です）		
A02	でじあな！	8 pt	5 位	2 sp
		トークの勢いで熱く一気に主張を噴出。どわーっ！その狙いが、とてもうまく実現できています。「カシャ！」の見せ方も、しっかりはまって、言いたいことを言い切ったぞという爽快感とともにエンディング。 一見マニアックトークに見せて、共感力大でした。 特別賞：アナログマ賞（アナログは不滅です） お昼前で賞（ゲロ吐くな!!） イチオシフレーズ：「ほんとゲロ吐いちゃうくらいショッキングだったね」×2 「カシャ！」		
A03	輝き	0 pt	12 位	1 sp
		折り紙という小道具を介して、昔と今との対比。さあ気持ちを切り替えようという思いを、「磨く」という動的なキーワードに託した工夫が、読者を味方にする親しみやすさになっていました。 特別賞：歌詞っぽいで賞（そのまんま歌詞にできそうなくらいキレイです）		
A04	猫になりたかった犬の話	8 pt	5 位	1 sp
		銀猫vs黒犬さん。まさに種族を超えた、これは……愛？ ファンタジックにていねいに展開して、エグいシーンなしなのも好感度大でした。 特別賞：中谷君のイチオシ賞（ネコミミ萌えだそうです……）		
A05	とある休日の出来事	11 pt	2 位	1 sp
		ん？ ここから始まるアヤシイ悪の結社ストーリー？ いろんな想像を誘ってくれます。 あーなるほど。宇宙人って銀色っぽいよね。 さっくり感がヒットして、銀セッションのシルバー・メダルともども、イチオシフレーズ大賞もお持ち帰りです、おめでとう!!! 特別賞：見なかったことに賞（しよう）（ベスト3には入れたくなかった） イチオシフレーズ：「全身が銀色だった」×2 「見なかったことにしよう。」×3		
		1 pt	11 位	5 sp

A06	簡単おもしろ科学実験	とってもキケンなアルミ箔の作りかた。 注意事項部分で、しっかりタネアカシしてる親切さも二重丸。 シリーズ物の仕立てにして、今回は「乙女心をゲットする**」だよ、みたいにしても楽しい。 ユニークな狙いがしっかりヒットして最多特別賞ゲットです、おめでとう！ 特別賞：あの人に試したいで賞（あの人のが嫌いだから。）イタいで賞（9V電池が好きなので。）よい子はやめま賞（めっ！byママ）地味に怖いで賞（明るい感じの口調で恐ろしいことを言っている。）やってみま賞（作者は昔やったの？）
A07	京都再訪 金閣・銀閣	9 pt3 位0 sp 観光案内まいります。 CMのナレーションのような、きれいさで着地していただきました。NHK賞を出したいくらいに、ゆったりと静かなナレーションがここちよい。おめでとうブロンズ・メダル！ イチオシフレーズ：「金閣が目指した永遠の美と銀閣が目指した自然との一体感」
A08	銀世界	3 pt8 位0 sp 観光案内まいります、その2。 雪にあらず、塩の大地でございます。 まさかのボリビア。意表を衝いたところへ連れて行っていただいた企画力と、だんだん正体を見せてゆく旅の追体験気分の醸し出ししかたが、すてきでした。 デスバレー（カリフォルニア）を訪ねたことがあるのですが、あそこも悠久の自然を感じさせて、すごかった。
A09	幸	2 pt10 位2 sp エンゲージリング？それとも結婚指輪のほうでしょうか。 幸せな輝き。キラキラ感の演出がすてきでした。おしあわせに。 特別賞：結婚しま賞（結婚指輪にはでっばった宝石はついてないことが分かった。婚約指輪の方かな？）あせしわ賞（つらいこともある）
A10	ある、日常の一コマ	8 pt5 位0 sp あらあら。ほのぼのと良いお話かと思いきや。 ラストの父と息子の小さなスレ違いが、うん、人生こんなものだよ、と微苦笑を誘って、こつんと「何か」を突きつけてくれました。そんな、普通では終わらない、という工夫がGOOD。 イチオシフレーズ：「『金』より『良い』って書くんだよ」×2
A11	精霊の涙	9 pt3 位2 sp うわあ、いいなあこれ。金の斧ネタはとてとても多かったけれど、ただの伝説いじりで終わらず、元の伝説が持っている、何か人を試すような精霊の「いやらしさ」をしっかりと炙り出して、それをみごとに打ち碎いたコンセプトがすばらしい。 そして、きれいなラスト！ まさかの予知夢を見せてくれたのは、きっと精霊さん

		かな？ おめでとうブロンズ・メダル！ 特別賞：口ぐせがひどいで賞（あまりに木こりが恩を感じないから） 夢か現か賞（現実性って大事だよね） イチオシフレーズ：「苦虫を数百匹一度に噛み潰したような表情」
A12	耐久強度基準下 回る	28 pt1 位0 sp なんと新聞記事！ 美濃囲いが強度違反でタイホ？ しっかり記事口調がサマになってて、楽しめます。 将棋ネタをここまで昇華した発想と構成力にブラボー！ な裏表紙でした。 発想よし、文章よし。圧倒的な強さでしたね、金メダルおめでとう!!! イチオシフレーズ：「振り飛車基準法」「攻め駒が足りなかった」「h A B U」

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
B01	銀のスプーンは冷たく重い	7 pt	6 位	1 sp おおっとうならせます。 しずく？ がしたたってるところまで凝ったスプーン・レイアウトもすごいけど、そこに盛られた銀のスプーンの明るい面と暗い面＝幸せな生まれから一転して毒への恐れへ、という洞察が、スプーンごとさくっと刺さってきます。 レイアウトと内容の深みの両方が備わったグレート表紙でした。 特別賞：豆知識的レイアウト賞（レイアウトがすばらしい）
B02	永劫を視る目	7 pt	6 位	2 sp テーマは月。力作でした。 うーん、ちょっと詰め込み過ぎちゃったかな。まるで地球を見守る「目」という流れは、とても説得的に作れていたの、前半三分の一くらいはカットしても良かったのでは。 調べたこと、捨てる勇気も正統派の試練。 特別賞：おつかれ様賞（長文だったから） まじめで賞（よんでいないざいあくかんから）
B03	きんのおの・ぎんのおの	12 pt	2 位	2 sp とっても多かった金の斧ネタ。こちらは 金＝銀＋石 というふうに登場順を入れ替えて遊んでいただきました。石斧って、石器時代か？ この入れ替えによって、どんな寓意が生まれたのかが、ちとつかめない。ナンセンス展開と読んでおけば良いのかな？ 金より偉い銀メダル（？）のほかに、トマホークがブレイクしてのイチオシフレーズ大賞もお持ち帰りです、おめでとう!!! 特別賞：そりゃ釈然としないで賞（おもしろかった） おっさんかわいいで賞 イチオシフレーズ：「トマホーク」×2 「トマホークと化しました。」×3 「あれはトマホークだった」「釈然としない気持ちで家路につきました。」 「石の斧」
		0 pt	11 位	0 sp

B04	銀ちゃん	ペラペラしゃべらない寡黙な、まさにいぶし銀のオトコ、銀ちゃん。キャラがしっかり立ってます。ソース焼きそばのエピソードが、すてきに効いてていいね。 だから、TAさんからの贈り物付きでした。やったね☆
B05	最高の笑顔	22 pt1 位1 sp 遺影。しみり浸れます。「お線香」の一語だけで全てを表現したばかり加減もワザアリ。ラストの大泣きがぐっと来ます。 死者は何も語らないけれど、生者の支えになる。供養という言葉の思い浮かべました。 最高の賞「金メダル」をお持ち帰りください。おめでとう!!! 特別賞：ハヌマーン賞（哀しい笑顔もあるなんて。ラストで急に切なく……涙が出ちゃう。だって男の子だもん☆）
B06	儂き銀色の夢	8 pt5 位2 sp だめでした。そうですか。残念でした。 パチンコ玉。たった一粒の夢。フォントを変えてドラマチックに見せた遊び心が、いい感じです。 特別賞：パチンコはやめといたほうがいいで賞（パチンコという存在を忘れてました）確変賞（オチが面白い） イチオシフレーズ：「椅子に座り」「だめでした」×2
B07	死闘の果てに	0 pt11 位0 sp そんなバッテリー切れオチ。 とてもスピード感のある戦闘シーンで、わくわく気分を誘います。 ただ、勢いを重視したのかもしれませんが、吠え声で改行するとか、読みやすさへの配慮もあるととっても良かったか。
B08	しる☆あく	5 pt8 位0 sp ミスリード？ かなあ。 とりあえずフィギュア壊しちゃうのは気の毒すぎ。 タイトルの遊び気分が笑えます。 イチオシフレーズ：「ユウたん（はあと）」
B09	銀貨十枚では救えない	11 pt3 位1 sp 深い。自由なんて、そんな幸せなものじゃないのさ。 寓話仕立てで、人間を縛っているものは、人間を支えているものなのさと説得的に見せていただきました。 「目」に語らせたラストが、うまいなあ。おめでとうブロンズ・メダル！ 特別賞：FREEDOM & JUSTICE賞（FREEDOM!!! 盛り上がったから）
B10	エレメントチルドレン	5 pt8 位3 sp 妄想乙、ですね、まさに。 これだけ妄想全開なら、そんな夢オチっぽい醒めたオチは、いっそやめて、妄想のまま熱く激しくイっていただいてもよかったのでは。 それくらいに、作者さんがこの世界に没入しきっている気合いが、ふつつつとしてました。 特別賞：そろそろやめま賞（妄想オチはそろそろやめましょう）それはないで賞（笑）（兄さん、痛すぎる。） 厨二賞（もうこのオチはお腹いっぱい） イチオシフレーズ：「雑魚は散りな、シャドウムーブ！」「くっ、シャドウワープ！」「お兄ちゃん、何やってるの？」

B11	シルバー	2 pt10 位0 sp
		キッチリ語った正統派。ディアナをキーワードに持ってきた美しさも二重丸。 ラストがもったいない。あまりに日常に落ちすぎてしまった感。 正統派は特に、ラストでどれだけ自説をキッチリ印象づけられるかが勝負なのです
B12	白より白い世界	11 pt3 位3 sp
		アイディア秀逸。銀世界をこんなにもひろびろと窓の向こうに見せて。 「刹那の欠片」というフレーズも美しく決まった今週の読み納めでした。 印刷ミスは申し訳なかったけれど、滑り込みで修正できて良かったです。 おめでとうブロンズ・メダル！ 特別賞：ヒューホー賞（きれいだから） ざんねん賞（全部うつらなかったから） 白いで賞（誌面が白い、いやわら半紙）